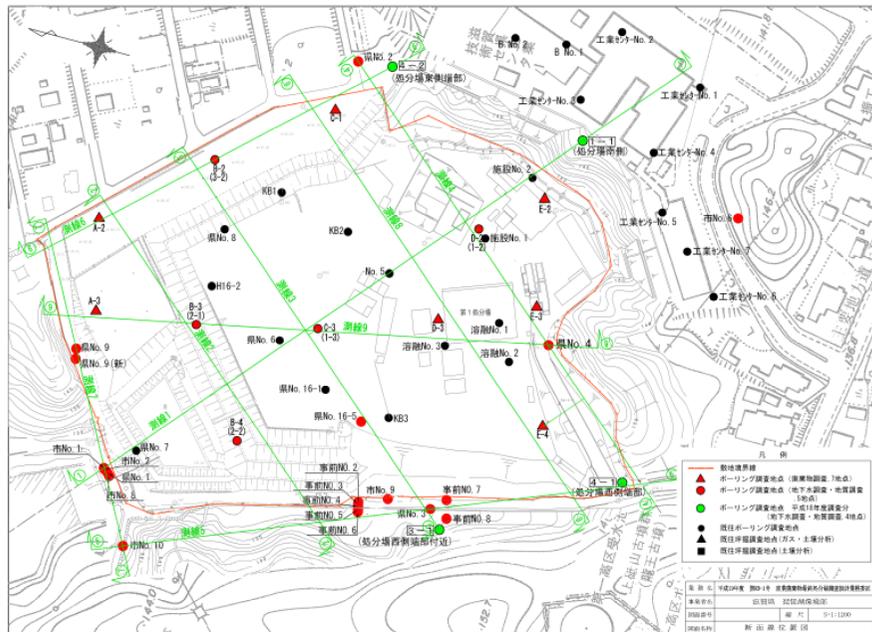
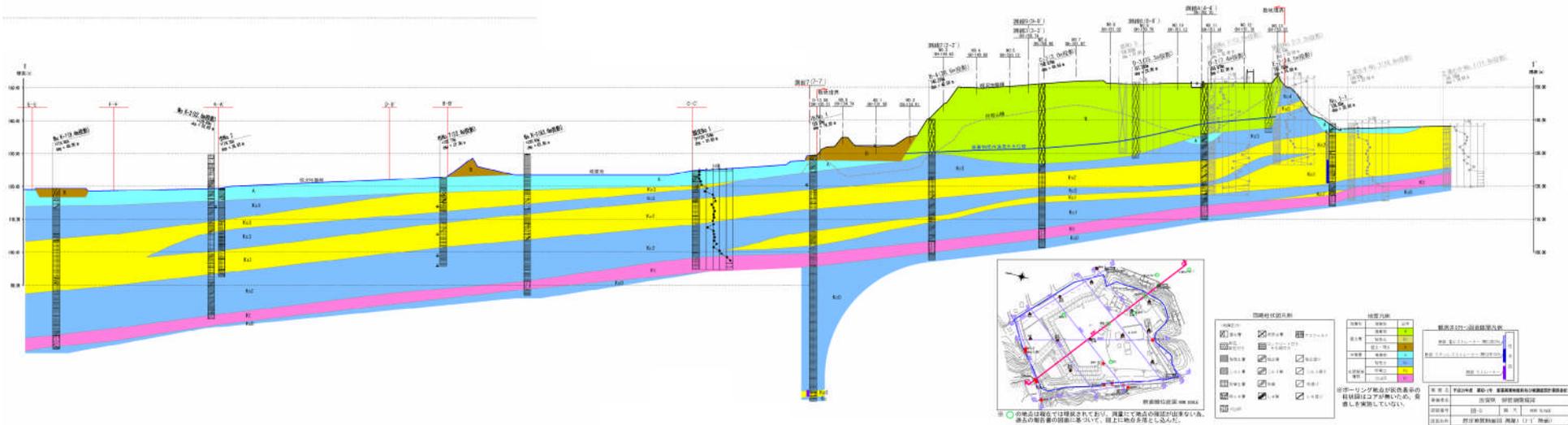




旧処分場の概況 (H22.8.3撮影)

## 処分場および周辺の地質状況



地質断面図（1-1' 断面：北西—南東）

- ・ 処分場およびその周辺の地質は古琵琶湖層群の砂と粘土の互層構成であることが確認された。
- ・ 砂層や粘土層は、それぞれ帯水層や難透水層を形成しており、これらの地層は琵琶湖岸とほぼ平行な走向をもって、10数度以下の傾斜で琵琶湖方向（北北西～北西）に傾斜している。
- ・ Ks1帯水層とKs2帯水層は処分場の西南部の境界付近で1つの帯水層となっており、Ks2帯水層とKs3帯水層は経堂池下流（県K-1付近）において1つの帯水層となっている。

## 地下水流動方向

・地下水位の一斉測水の結果から、Ks2帯水層の地下水流向は、処分場およびその周辺では、概ね南東から北西方向に流れていることが確認され、帯水層（地層）の傾斜とほぼ合致する結果となっている。

